

## 2023 年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）

課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

### 採択ビジネスアイデア

アイデア名称 : 地域文化周知と水のサブスクリプション

採択者名 : 佐藤 将太郎、杉田 修哉

(注) 本ビジネスアイデア（原文のまま）は、採択者の希望により公表します。  
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。  
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2023 年 9 月 1 日

主催者 一般財団法人 水・地域イノベーション財団

# 地域文化周知と水のサブスクリプション

早稲田大学 3 年 佐藤将太郎 慶應大学 3 年 杉田修哉

## アイデア考案の経緯

現在、地域が抱える課題の根底には地域人口の低下がある。私たちは地域に雇用を創出すること、また若者が地域を訪れることで地域の現状、良さを知ってもらうことが必要であると考えた。現在大学生である私たちがあったら良いものを考え、また、周囲の若者のニーズを把握し、それを課題に結びつけたビジネスアイデアを考案した。私たちのアイデアは大学生の内心や現状を具体的に捉えたものとなっている。

## ビジネスアイデア

大学生をターゲットに安価な天然水をサブスクリプション的に提供し、対価として地域訪問、ボランティア参加を課す。現在肌や健康への気遣いから、天然水を購入する若者は非常に多い。一本百円の水が大学で 10~50 円で購入できれば確実に需要がある。ボトルにはペットボトルゴミの減少と水筒の不便性から蓋以外は柔らかく畳むことができる再利用可能のものを想定する。利用者には一定期間に一度、地域を実際に訪れ、ボランティア労働または文化体験を課す。就職活動のために名目的なボランティア活動参加を望む大学生は多く、友人とともに参加可能であれば積極的参加を望める。また水の採取を行う場に

雇用と在住型労働者が生まれる。また小中学校、高校等の法人にも、良質な水に加え文化体験という課外活動の機会を提供できる。将来的に駅等にも設置し、サブスク型で地域を訪れた人とそうでない人に価格差別を与え提供し、ターゲット層を広げることもできる。